

桜川でサケの卵を調べました

～第8回千波湖環境学習会～

11月20日に第8回千波湖環境学習会を開催しました。今回のテーマは、毎年恒例となっている「桜川でサケの卵を調べよう」でした。新型コロナウイルスの影響で、残念ながら第6回及び第7回は中止となってしまいましたが、感染が下火になってきたこともあり、今回は無事に開催することができました。当日は天気にも恵まれ、少し風は冷たかったですが、気持ちの良い日差しを受けながら学習会を行うことができました。

今回の学習会は普段学習会を行っている千波湖の親水デッキではなく、水戸市役所への集合となり、47名の方の参加がありました。



真剣にクイズに取り組む参加者

学習会のはじめは、毎年恒例となっているクイズです。今回のクイズは、学習会のテーマにもなっているサケについてでした。サケの基本的な問題を出題し、子どもたちは楽しみながらも真剣に取り組んでいました。クイズの景品は、水戸ホーリーホック様からショルダーバッグを提供していただきました。

クイズ終了後、市役所から美都里橋まで車に注意しながら移動しました。桜川に到着し、川の中に入る前に、講師から桜川におけるサケについての説明がありました。

桜川に遡上してくるサケはどこから来ているのか、過去にどれくらいの数のサケが遡上してきたのかなど、わかりやすく説明をしてもらい、参加者は興味深く聞き入っていました。



早速ヨシノボリが取れました

桜川におけるサケの説明が終わり、皆さんお待ちかねの川の中に入る時間になりました。残念ながら、本年度も学習会までにサケの遡上が確認できず、急遽予定を変更しての水生生物の観察となりました。

川の水は、冬の時期ということもあり冷たいものでしたが、子どもたちは気にせず元気に川の中に入って、水生生物の採取を行っていました。今回は、ハゼの仲間であるヨシノボリとヌマチチブ、モツゴ

やモクズガニ、スジエビやテナガエビ等が採取でき、最後に行ったこれらの水生生物についての講師からの説明に参加者は聞き入っていました。

最後となりますが、クイズの景品を提供していただいた水戸ホーリーホック様、飲み物を提供していただいたばかり乳業株式会社様、あんこうばわあ株式会社様、学習会の運営にご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



解説に聞き入る参加者